

## 朝日連峰前衛 摩耶山、日本国、光兎山 山行報告

【日 時】 2017年10月7日(土)～9日(月) 天候 : 晴

【参加者】 CL 柘植 SL 藺田 井上(里) 杉山(記録)

### 【コースタイム】

7日 千葉13時⇒道の駅朝日20時(仮眠)

8日 道の駅5:30⇒越沢登山口6:48—追分コース分岐7:11—弁財天滝7:35—中尾根分岐7:50—摩耶山山頂9:35—六地藏9:40—避難小屋10:16—追分コース分岐10:43—登山口駐車場11:40

⇒小俣小学校駐車場(日本国登山口)12:30—日本国山頂13:57—あずまや14:22—小俣小学校駐車場15:20=道の駅朝日(泊)

9日 道の駅朝日5:27⇒中東登山口6:13—笹峰休み場7:24—虚空蔵7:55—観音峰8:12—水場8:18

—雷岩9:12—光兎山10:35—水場11:53—登山口13:30⇒桂の関温泉15:30⇒22:00 千葉

### 【記 録】

当初は森吉山連瀬沢メインで計画していたが、現地天気がよくないので摩耶山(昭文社地図朝日連峰裏)日本国(‘山’はつかないことに注意)、光兎山(こうさぎさん)に変更して登って来た。摩耶山は聖徳太子の母摩耶婦人に由来するらしい。沢沿いを登り、弁財天の滝は滝左のハシゴで登る。中尾根は急登の連続だがブナ林が美しい。たどりついた摩耶山山頂は広くないが数組の登山者がいた。東側は切れていて目の前の鉾峰、鋸峰がポコポコとあり、雲がかかった以東岳が見えた。駐車場から一緒だった単独の女性は明日は以東岳に行く予定だと言っていた。可愛い六地藏を見て避難小屋(土間に縁台だった)を過ぎ、追分分岐から初心者コースを辿って駐車場に戻った。1000Mだからまだ紅葉は少しかったが存在感のあるいい山だった。





摩耶山東面の景色（雲中は以東岳方面）



六地藏



そのまま日本国登山口の旧小俣小学校まで車で移動。この山は「日本国」で「日本国山」でないことに注意。

入口には立派なゲートがあり、パスポートなしで「入国」する。昼すぎからの登山でおまけに 555mの低山のため相当暑いが、ゆるやかに風があるのが救いだ。摩耶山と違い緩やかな登りで、山頂の櫓は回りの木が大きくなって意味がないが、日本海に浮かぶ粟島が近くに見え、眼下の海岸線が新潟らしかった。

帰りは蔵王堂の道から周回で帰った。登山者には郵便局で日本国登山証明書を出しているらしいが、今日はお休み。再び道の駅朝日にもどりレストランで夕食、まほろば温泉に入り、就寝。



日本国登山口



山頂からの展望（中央に薄く鳥海山）

日本国山頂



山頂からの展望（日本海と粟島）

翌日は村上市近郊の光兎山（こうさぎさん）に向かう。昨日日本国の山頂で会った夫婦が「光兎山は結構険しい」と言っていたが、中東（なかまるけ）登山口から虚空蔵峰までは散歩気分の道が長く、水場辺りからガレ場が続き、雷岩をへて姥岩から山頂がみえた時はホッとした。山頂は小広く、高曇りであるが360度の展望で来て良かったと思った。地元の人（光兎山に今年17回目とのこと）のガイドを聞き、周囲の山名を理解してから下山する。今日は83歳の地元村長が上がってくるかもしれないと聞き、それなりの歳の方2人を品定め？するが、結局村長さんは来られなかったようだ。帰り道は杉の切株に生えているスギヒラタケを採取。

帰ってから家でバター炒めしたら美味だった。山頂ガイドさんに教わった越後関川桂の関温泉ゆーむで汗を流してから帰葉。3連休の最終日は大渋滞であったが、新潟・山形県境の静かでない山を歩いて幸せでした。





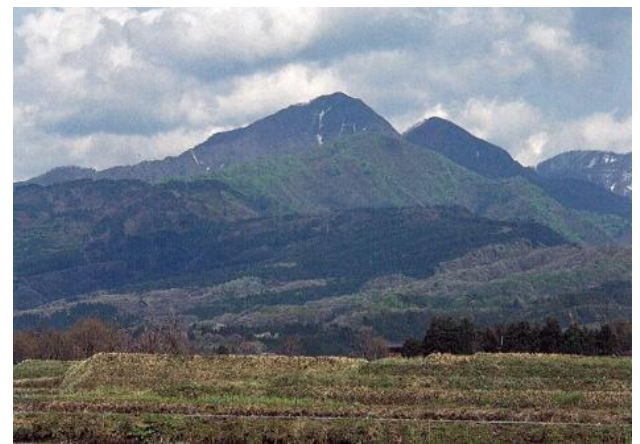
雷岩付近から光兎山を望む



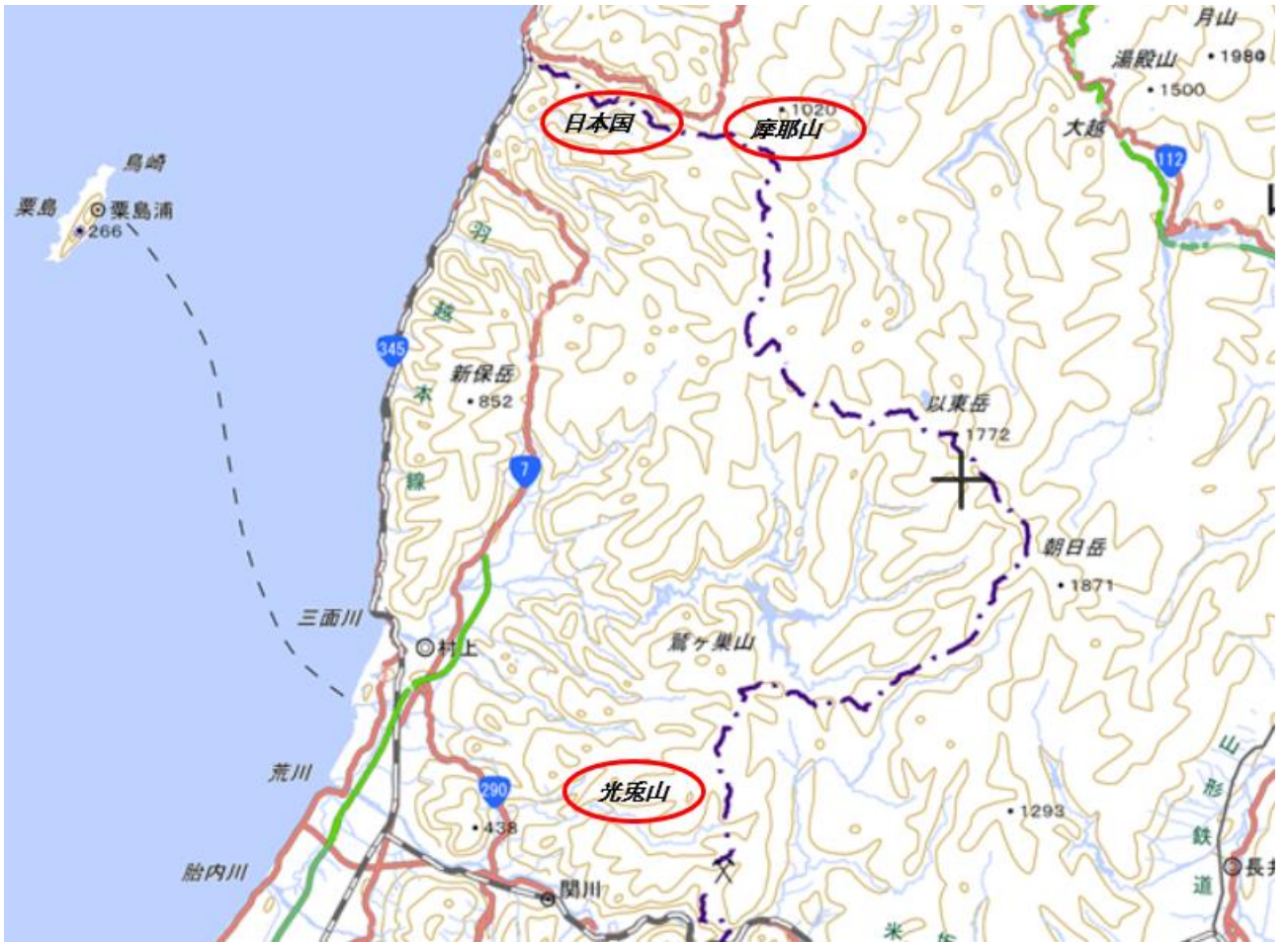
山頂までもうあと少し



光兎山の山頂でこうさぎさんのポーズ



帰路 光兎山遠望



登った山の場所（新潟県と山形県の県境付近）  
右上に月山、中央右が朝日連峰

記録：杉山喜代枝